

# 開放講座

大学の正規の授業の一部を学外の方々に公開し、学生と一緒に教室で大学教育を実際に体験していただきます。

開放講座の多くは専門科目ですから、リカレント教育の場としても活用いただけます。

## 家政学部

17042 家政学部1年

### 情報処理概論

担当/教授:神内 教博  
開講日/月曜日(7・8限)・火曜日(5・6限)

現代の高度情報化社会のなかで様々な仕事に従事する場合、コンピュータによる情報処理に関する基礎知識を身に付けていることが不可欠です。そこで、コンピュータの基本原理や機能、そして情報処理の流れを知るとともに、機器を起動させ、各種のソフトウェアを使うための基礎としてのOSの役割などを習得します。さらに、OSを使った環境設定や基本コマンドについて理解を深め、Windowsやインターネットの仕組みをも理解します。

17043 生活環境学科1年

### 調理学

担当/教授:小出 あつみ  
開講日/金曜日(1・2限)

調理学では調理技術に繋がる基礎知識を学びます。具体的には、調理操作や調味による食材の組織・物性・栄養価・生理機能性などの変化を学びます。調理学で学んだ内容は、食材を有効に活かしたおいしい料理作りに活かされます。

17044 生活環境学科1年

### 衣環境学

担当/教授:間瀬 清美  
開講日/水曜日(3・4限)

外環境の暑さ、寒さから、人体を守るための被服の着用の仕方を考える。人体-被服-環境の関連を人間の着用快適性を主眼において講述し、環境に対応した被服のあり方を解説していく。人体生理を理解し、良い着心地を得るための着用の特性について考える。

## 短期大学部

17045 生活学科1年

### マルチメディアテクノロジー

担当/准教授:川田 博美  
開講日/水曜日(5・6限)

コンピュータやネットワーク、映像などのそれぞれの技術をデジタル技術で融合して構成するマルチメディア技術を分かりやすく解説します。

17046 生活学科1年

### くらしとインターネット

担当/准教授:森屋 裕治  
開講日/水曜日(7・8限)

インターネットがいかにか私たちの生活に急速に普及し、密接な関係にあるか、日常的な事例を挙げ説明します。そして、インターネットの歴史や仕組みについて概略を説明し、インターネットがもたらす光と影の部分にも触れます。

17047 保育学科1年

### 児童家庭福祉

担当/教授:那須野 康成  
開講日/月曜日(7・8・9・10限)

児童家庭福祉では、子どもと家庭の福祉の歴史の変遷と児童福祉法の内容や現状の課題について学びます。特に目まぐるしく変化する社会状況の中、夫婦共稼ぎの増加、経済的貧困、ひとり親家庭など子どもを取り巻く状況は厳しいものがあります。そこで、子どもの権利や最善の利益とは何かについて一緒に考えていきます。

17048 保育学科2年

### 社会福祉

担当/非常勤講師:荒川 あつ子  
開講日/月曜日(5・6限)・木曜日(1・2限)

個人の責任では解決困難な生活課題を支援し、人間としてふさわしい生活水準の保障を憲法25条は国家に求めています。その必要性が益々高まってきている現代社会における社会福祉・社会保障のしくみについて概説します。

17049 保育学科1年

### 子どもの保健1

担当/非常勤講師:小田 香里  
開講日/金曜日(1・2・3・4限)

児童福祉法に定められた「保育士」資格取得のための必要科目で、我が国の母子保健統計や子どもをめぐる動向や問題、親子をサポートする母子保健対策等を理解してもらいます。子どもの健康には、出生前、出生時、出生の状況が大きく関わっています。出生後については、月・年齢別にその時期の成長、発達の特徴があります。それらを、解剖生理・運動機能・精神機能の面から理解してもらった上で、保育支援を行っていくための方法を考えてもらいます。

※開講曜日・時間については変更することがございますので、大学ホームページで最新の情報をご確認ください。  
※受講人数によっては、不開講となる場合があります。

### 授業時間

1・2限	9:00~10:30
3・4限	10:40~12:10
5・6限	13:00~14:30
7・8限	14:40~16:10
9・10限	16:20~17:50

### 注意

開講日・時間等は変更となる場合がありますので、必ず学生支援センター掲示板、あるいはHPでご確認ください。

### 開放講座お申し込み方法

- ① 受講は若干名で、女性に限りません。
- ② 受講料は1科目¥15,300です。
- ③ 試験は受けられません。また、単位は与えられません。
- ④ 単位の必要な場合は「科目等履修生」の制度をご利用ください。詳細は学生支援センターにお問い合わせください。
- ⑤ 申込期限は、4月6日(木)です。
- ⑥ 申込方法はオープンカレッジ同様にハガキ・E-mail・FAXのいずれかで下記申込書②~⑧をご記入の上、お申し込みください。電話によるお申し込みはできません。

## 社会人入学について

『社会人入学制度』は、すでに社会で活躍されている方が「あらためて勉強をしたい」「さらにスキルアップを図りたい」など、本学への入学を希望されている社会人のための入学制度です。

問い合わせ先:入試広報課

☎0120-758-206

## 科目等履修生制度について

大学の入学資格のある人が、大学の一部の科目を履修し、その単位を取得する制度です。

- ① 履修の条件/入学資格のある女子に限りません。履修目的によっては、規定上の制限があります。(教員免許状や栄養士免許取得等)
- ② 履修科目/大学院、大学及び短期大学部の科目で、授業担当教員が履修を認めた科目。
- ③ 履修の制限/1年間に履修できる科目総単位数は20単位以内です。
- ④ 履修の開始/前期は4月上旬、後期は9月中旬です。
- ⑤ 出願手続/必要書類に検定料を添えて、学年(または学期)の始まる1ヵ月前までに提出してください。
- ⑥ 履修料/科目等履修料(1単位¥11,000~¥17,000)。その他必要に応じ実験材料費等の実費を指定期日までに納入してください。
- ⑦ 単位の認定/出席時数が規定を満たし、かつ、試験に合格すること。単位修得証明書を交付します。

問い合わせ先:学生支援センター TEL.052-852-9296

### 申込み講座控え

申込み講座の覚え書きにご使用ください。

講座番号	
講座名	
テキスト・教材購入希望	
する・しない	※対象はテキスト・教材のある講座です。
講座番号	
講座名	
テキスト・教材購入希望	
する・しない	※対象はテキスト・教材のある講座です。

2017年度 前期講座受講申込書 ①受付番号

②フリガナ

氏名

③性別 男・女 年齢 歳 生年月日 大正・昭和・平成 年 月 日

④職業 1.会社員 2.自営業 3.主婦 4.大学生 5.小・中高生 6.その他( )

職業 本学 大短 卒業生: 学籍番号 学部 学科 年3月卒業  
本学 中高 高校 年生 中学 年生 本学 教職員

⑤住所

⑥電話 ( ) - FAX ある・なし  
携帯電話 ( ) - E-mail

⑦講座名

講座番号

テキスト・教材購入希望 する・しない ※対象はテキスト・教材のある講座です。

講座名

講座番号

テキスト・教材購入希望 する・しない ※対象はテキスト・教材のある講座です。

⑧ 本学オープンカレッジ過去3年以内の受講歴  
1.有 2.無 3.不明(○印を付けてください)  
講座名( )

### 受講申込書 記入方法

- ① 受付番号は、記入しないでください。
- ② 氏名は、上段にフリガナをご記入ください。
- ③ 性別は、該当事項に○印を付け、年齢・生年月日をご記入ください。
- ④ 職業は、1~6の該当の項目に○印を付けてください。  
本学在学学生の方は学籍番号を、卒業生の方は卒業した学部・学科、卒業年をご記入ください。
- ⑤ 住所は郵便番号から楷書でご記入ください。
- ⑥ 電話番号は、市外局番からご記入ください。  
携帯電話 E-mailは日程・教室変更等の連絡に使用します。
- ⑦ 1枚の申込書に、2講座まで同時にご記入いただけます。  
申込講座数に制限はありません。2講座以上の場合、申込書をホームページからダウンロードし、郵送・FAX、もしくはE-mailで送信してください。  
テキスト・教材のある講座は、購入希望の(する・しない)に○印を付けてください。(○印のない場合は「購入希望しない」とさせていただきます。すでにテキストをお持ちで不要な場合は「しない」に○印を付けてください。)
- ⑧ 過去3年以内に本学オープンカレッジを受講された方は、1.有に○印を付けて( )の中に講座名をご記入ください。(不明の場合は無記入で結構です。)  
※ご記入いただいた個人情報は、本学からの資料発送および講座案内以外の目的に使用することはありません。

のりしろ③

※のりしろ部分をのりづけしてください。

のりしろ④